

# **第7回地区庶務担当理事連絡協議会**

と き 平成23年11月30日（水）午後2時30分～

## **△森会長挨拶**

森府医会長は先日、一旦募集を締め切った「受診時定額負担導入に反対する署名」への協力に謝意を示すとともに、現時点で目標の50万筆にほど遠い12万筆あまりという結果について「我々の危機感をうまく伝えることができなかった」ことを原因に挙げ、「軽医療費免責制や、TPP交渉における混合診療解禁・株式会社の医業経営参入につながる」恐れがあることをあらためて示すとともに、政権与党が受診時定額負担導入を断念するように報道されているが、「完全になくなったわけではない」として、引き続き12月11日の医療推進協議会イベント当日まで署名を集めていただくよう依頼した。一方、日医も12月9日に反対決起集会を開く予定で、この日に向けて署名を集めているが、TPP交渉参加阻止を求めて農協が集めた1850万筆を超える必要があるとの見解を示した。

## **△報告ならびに協議事項**

### **1. 最近の中央情勢について（坂東理事）**

受診時定額負担の導入やTPP交渉への参加をめぐる問題、診療報酬の改定率にかかる話題について、10月下旬から11月下旬にかけての国の動きについて説明した。

### **2. 京都府医療推進協議会イベントについて（坂東理事）**

12月11日（日）にみやこめっせで開催するイベントへ、多数の参加を呼びかけた。

### **3. 麻薬免許証の交付について（三木理事）**

10月に申請書を提出された本年の更新対象者の麻薬免許証について、交付日程・場所や必要書類等を説明した。（京都医報11月15日号・12月1日号「保険だより」参照）

### **4. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）**

12月～1月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、積極的な参加を呼びかけた。

### **5. 地区からのご意見・ご要望**

左京から、署名の様式について、10名連記では住所等個人情報が他人の目に触れるため、署名をためらう方が多く、対応を求める意見があった。城守府医理事は、「同様の声を聞く」として、今後、工夫する意向を示した。森府医会長は、「ご面倒をおかけするが、抵抗を感じる方には無地の用紙を渡し、記入後すぐに引き取るなどで対応いただきたい」と回答するとともに、「ここぞというポイントでの署名は大変有効である」と理解を求めた。